

# 経営相談 Q & A

## 企業努力が見える化する「SDGs 宣言」策定のポイント

Q

私は大企業の下請けとして製品を製造する中小企業（従業員 100 人）の経営者です。取引先との商談の際に「SDGs（持続可能な開発目標）に対する自社の取組」について話題になる頻度が高まっており、「SDGs 宣言」を策定して自社の取組を公表しようと考えています。どのように取り組めば良いか教えていただけますか。

A

近年、「SDGs 宣言」を行う中小企業が増えています。その背景には大企業を中心に、投資家をはじめとするステークホルダーから ESG（環境（E：Environment）、社会（S：Social）、ガバナンス（G：Governance）の頭文字を取ったもの）対応を迫られていることがあります。その結果、サプライチェーンを構成する取引先企業についても SDGs に寄与する取組を評価するようになりました。この動きに呼応して、中小企業でも「SDGs 宣言」を策定して取組内容を公表する企業が増加しています。

一方で「SDGs 宣言」は制度化されたものではないため、知識不足や検討が不十分でゴール設定自体が適切でないケースや、実態と乖離した内容のため SDGs ウォッシュ（うわべだけ SDGs に取り組んでいるように見せかけること）と非難され、逆に評価を下げるケースがあります。以下では、「SDGs 宣言」を策定する際に押さえておきたい考え方をご紹介します。

### ■目的・概要

「SDGs 宣言」とは、企業や団体等が SDGs 実現に向けた具体的な行動を発表するものです。その策定にあたっては、SDGs の企業行動指針を整理した「SDG Compass」が参考になります。「SDG Compass」の目的は、企業が SDGs を経営戦略と整合させ、SDGs への貢献を測定し管理していくうえでの指針を提供することであり、世界中の企業が活用しています。

SDG Compass は、以下の 5 Step で推進していくことを推奨しています（図表 1）。

図表 1：SDG Compass の 5 つの Step

| Step | 項目              | 内容                                                                             |
|------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1    | SDGs を理解する      | SDGs の各目標やターゲットを理解し、それにまつわる世界的な潮流についても情報を収集する                                  |
| 2    | 優先課題を決定する       | バリューチェーン全体を通じて事業活動が SDGs に及ぼしている、あるいは及ぼす可能性のあるプラスとマイナスの影響を把握して、SDGs の優先課題を絞り込む |
| 3    | 目標を設定する         | 目標を設定して、具体的なアクションを考える。各企業が目指す姿を明らかにすることが望ましい                                   |
| 4    | 経営へ統合する         | 経営者は自社事業が持つ社会的意義を丁寧に説明するとともに、実施体制を整備するなど、SDGs に対する取組が事業全体に持続可能性を持ちうるようにしていく    |
| 5    | 報告とコミュニケーションを行う | 目標や達成度を定め、ステークホルダー（利害関係者）に対して報告・コミュニケーションを行い、協働する                              |

資料出所：GRI/UNGC ほか「SDG Compass」をもとに当研究所作成

### ■策定にあたってのポイント

実効性のある「SDGs 宣言」をつくるためには、策定の際に関連部門長や次世代の幹部候補などのキーパーソンを巻き込んで全社的かつ継続的な取組みにつなげることが重要です。以下は策定支援プログラムの一例（図表 2）ですが、SDGs の基礎知識から、自社と SDGs との関わりを考えることに加え、宣言を具体化するための取組みや進捗を図る KPI（重要業績評価指標）を策定いただくことで経営計画との統合を図ることを主眼にしています。策定期間はプロジェクトチームの発足から約 3 か月、全 5 回を想定しています。

図表 2：策定に向けた支援プログラムの一例

| 回数    | 進行目安               | 主な内容                                   |
|-------|--------------------|----------------------------------------|
| 第 1 回 | SDGs の基礎           | ・ SDGs の基礎知識を学ぶ<br>・ 取組の意義を理解する        |
| 第 2 回 | SDGs と自社事業を結び付ける ① | ・ 現在の自社の取組を振り返る<br>・ バリューチェーン上の課題を考える  |
| 第 3 回 | SDGs と自社事業を結び付ける ② | ・ SDGs 宣言の素案を作成する<br>・ 理想の自社について考える    |
| 第 4 回 | 実践につながる計画づくり       | ・ SDGs 宣言をつくる<br>・ 取組内容や KPI を検討する     |
| キックオフ | 方針発表会での SDGs 宣言    | ・ SDGs 取組方針を社内に示す<br>・ SDGs 宣言の社内外への公開 |

資料出所：GRI/UNGC ほか「SDG Compass」をもとに当研究所作成

## ■実際の宣言事例

当研究所が「SDGs 宣言」の策定を支援した 2 社の事例をご紹介します（図表 3）。

「道徳と経済一体の経営」の実践を理念に掲げる至誠堂製薬株式会社（奈良県御所市）は、医薬品や健康食品の製造にかかる ISO 等の認証取得に向けた取組みを外部に発信する目的で「SDGs 宣言」を策定されました。

図表 3：実際の SDGs 宣言事例



### 至誠堂製薬株式会社 SDGs 宣言

当社は、社である「至誠の心で尽くします」のもと、以下の理念の実践を通じて、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に努めてまいります

**理 念**

- 一、道徳と経済一体の経営を実践し、企業の繁栄と持続を目指します
- 一、事業を通じ、人々の健康と幸せに貢献します
- 一、感謝・報恩の心を持って、自らの品性向上を目指します

**持続可能な社会の実現に向けた当社の取組み**

**人々が健康に過ごせる社会づくり**

当社は、医薬品・サプリメントの製造・販売を通じて、世界中の人々が健康に過ごせる社会を目指します。

- ① 企業のガバナンス・コンプライアンスを遵守し、安全・安心・満足な製品を提供します
- ② グローバル化に対応した製品を、適切な価格で海外の取引先に提供します
- ③ サプライチェーンマネジメントを行い、SDGs活動の幅を広げます
- ④ FSSC22000・ISO9001を遵守し、安全で体にやさしい製品づくりを目指します

**環境経営の推進**

当社は、環境経営による適切な資源管理を通じて、環境負荷の低減を目指します。

- ① エコアクション21の活動を通じ、環境負荷の適切な把握と低減に努めます
- ② 3R(Reduce/減量・Reuse/再利用・Recycle/再生利用)を推進し、廃棄物削減を目指します
- ③ 環境保全の為、地域活動に取組みます
- ④ ISO14001に準拠し、グローバルな環境問題に取り組みます
- ⑤ 事業継続計画(BCP)に基づき、社員・家族・地域の安全を守ります

**働きがいある職場づくり**

当社は、働き方の多様化を見据え、すべての人が働きがい、生きがいを感じられるような職場づくりを目指します。

- ① 道徳と経済一体の経営を進め、心身ともに健康で幸せに働き続けられる職場づくりを目指します
- ② 働き方改革を進め、ワークライフバランスを大切にされた労働環境を実現します
- ③ 障害を持つ方や外国籍の方など、多様な方が働きやすい職場づくりを目指します
- ④ 従業員のスキル育成・啓発活動に取組みます

FSSC 22000



至誠堂製薬株式会社

代表取締役 富士 俊隆

2021年4月1日宣言  
2022年4月1日改定

また、富士高分子株式会社（京都府城陽市）は、炭素、酸素、水素分子のみで構成されることから焼却時に有害ガスが排出されない DAP（ジアリルフタレート）樹脂の取扱いに秀でた企業です。幅広い年齢層の社員が製品の価値や中長期展望について意見交換し、気づきを得ていただきました。いずれの事例でも、「KPI の確認を通じた進捗管理」まで実施できるかどうかポイントです。

## ■現場からの感想

実際にプロジェクトメンバーとして「SDGs 宣言」の策定に関わった従業員の方からは、「自分たちの日常業務が、まさに SDGs に大きく関わっていることに気づいた」「全社員を巻き込んだ活動に発展させる必要がある」などの声を頂きました。当研究所では「SDGs 宣言」の策定から実際の進捗管理まで幅広くご支援しています。ご関心をお持ちの方はお問い合わせください。

（林 大祐、太田宜志、八木陽子）



### 富士高分子株式会社 SDGs 宣言

当社は、「身の回りからエレクトロニクスまで」のスローガンのもと、幅広い分野で培った技術と製品群によって、以下の経営理念を実践し、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献することを宣言します

2022年4月1日  
代表取締役社長 田代加平

**経営理念**

1. 社員とその家族の豊かな人間形成を目的とする
2. 生き甲斐のある生活の実現をめざす
3. 地域や住民との共生をはかり社会に貢献する企業をめざす
4. 未来を創造し、ものづくりを通じて夢を実現する

**価値共創型ものづくり**

DAP樹脂製品で培ったものづくり技術を通じてお客様とともに新しい価値を創造します

- 含浸・プレス技術を活用し、顧客要望を実現するための商品開発に積極的に取り組みます
- 自社開発及び顧客との共同開発により、イノベーションにつながる新しい価値の提案を行います
- ISO9001や品質コンプライアンス行動指針に準拠し、事業活動における法規制などを遵守します

**環境経営の推進**

人と環境に配慮した事業活動を通じて環境負荷の低減を目指します

- 人にも環境にもやさしい製品の拡販により環境負荷軽減に貢献します
- 原材料の削減や省エネルギー化、効率化をはかり、CO2排出量を削減します
- ISO14001の取り組みを通じ、ロス削減、不適合品ゼロにより、廃棄物削減を目指します

**働きがいのある職場**

人材の多様性を活かす教育体制をつくり生き甲斐のある生活の実現を目指します

- 各種資格取得などにチャレンジできる環境を整備し、社員一人ひとりの能力開発に取り組みます
- 育児や介護など、家庭生活と仕事をバランスよく両立させるための諸制度を充実させます
- 安心して働ける健全な職場環境を目指します

**地域社会との共生**

地域社会に貢献し人々の豊かな生活の実現を目指します

- 地域でのクリーンアップ活動など、社会奉仕活動、地域環境保護活動に継続的に取り組みます
- 会社行事を通じて地域社会とのつながりを深めます

**DAP樹脂製品は、人と環境に優しい製品です**

※DAP樹脂製品とは、酸素・炭素・水素から成る物質で構成される特殊な化学樹脂で、様々な材料と組み合わせ可能な製品です（DAP:ジアリルフタレートの略称）